

祝辞

六年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

六年前の四月に入学したとき、どんな気持ちでこの席に座っていたか覚えていますか。初めて通った体育館や教室に戸惑ったり、みんなと仲良くなれる楽しい学校生活になるのか不安だったりした人もいるでしょう。知らないことばかりで、ドキドキした人もいるでしょう。

期待や夢を膨らませて門をくぐった入学式から、たくさんのお友達や先生方の出会い、勉強・運動だけでなく、たくさんの地域の活動を通して、一人ひとり色々な形の経験を得られたのではないのでしょうか。小学校の六年間、毎日の小さな一歩ずつの積み重ねを続けたことは、本当に素晴らしい事で自信をもって欲しいと思います。

初めは、お兄さん・お姉さんに教えて貰っていたことも、いつしか自分が教える側になったときや、友達と協力して一つの事をやり遂げた時など、少しずつできることが増えていくことで自分が成長していることを実感した日もあるのではないのでしょうか。

六年前とは異なり、普通の日常を過ごす世界から大きく変わっています。今まで当たり前に行っていたことができなくなる日々の中、先の見えない不安に対しても臆することなくできることを取り組んで、日々の努力を続けたおかげで来るべき今日の日を迎えることができたと思います。

みなさんは小学校六年間で、さまざまなことを学ばれたことと思います。これからは、自分自身で考えて判断することが増えていくと思います。不安な時もあるでしょうが、おうちのひとや先生方、地域のたくさんの方々が見守ってくれます。これからの夢を実現させるために、きのうの自分よりも今日の自分が少しでも成長するように、一日一日を大切に過ごしてください。

卒業生保護者のみなさま、本日はお子達のご卒業まことにありがとうございます。永年にわたりPTA活動に御尽力戴きましたこと、そして今日まで育まれたお子達が良き上級生として子ども達の手本となってくださったことを、在校生保護者として厚く御礼申し上げます。

野口校長先生はじめ教職員の皆様、六年間、困難なときも常に心血を注いでのご指導を賜り子ども達が卒業を向かえることができたこと、衷心より深く感謝申し上げます。

最後になりましたが、本日ここにご臨席かなわなかった多くの皆様、子ども達を何時も気にかけて戴いています地域の先輩方、遠い場所からではございますが篤く御礼申し上げます。この子たちは今日より高倉の町衆です。これからも地域家族の一員として、末永く見守って戴けますよう何卒お願い申し上げます。

以上をもちまして私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

本日は、誠におめでとうございます。

令和四年三月二十三日

高倉小学校PTA会長 松井 崇